

## rpt\_conn(rpt\_connect)について

令和 2 年 10 月 9 日 V00.06

JARL D-STAR 委員会

**本プログラムは、国内専用です。海外からは使用できません。**

**dmonitorバージョンV01.58以降で使用するための説明書です。**

本プログラムは、JARL D-STAR委員会のメンバーが開発したもので、アイコム社は関与していません。問い合わせはJARL事務局でなくJARL D-STAR委員会宛てにさせていただきようお願いします。メールアドレスは software@mail.d-star.info です。なお、本プログラムは、国内専用ですので海外からの接続についてのお問い合わせにはお答え出来ません。(あ を @ に変更してください。)

rpt\_conn(rpt\_connection)は、無線機からの操作でレピーターに接続するためのプログラムです。dmonitor のバージョン V01.52 以降から、「レピーター一覧」が表示されている状態で使用できます。なお「レピーター一覧」を表示しないで使用する場合は、rpt\_conn の起動方法の項を見て下さい。

### 使用方法

無線機が rpt\_conn に接続されている場合（「レピーター一覧」が表示されている場合）、ur に接続先のレピーター名をエリア CQ の書式で指定して PTT を押しますと、dmonitor を起動してレピーターに接続します。dmonitor がレピーター接続に失敗した場合、無線機の接続は、rpt\_conn に戻ります。dmonitor を終了して rpt\_conn に接続を戻すには、ur に DISCON もしくは UNLINK を設定して PTT を押します。また現在無線機がどちらのプログラム接続されているかは、ur に STATUS を設定して PTT を押します。

ur の設定できる文字列は

接続： エリア CQ

切断： DISCON もしくは UNLINK

スキャン： SCAN

状態表示： STATUS

再起動： REBOOT

です。

無線機に表示されるメッセージについて

xxxxxx x は、接続コールサインとして設定されているコールサイン

yyyy は、my2 に設定される文字列

簡易メッセージ rpt\_conn もしくは dmonitor からのメッセージ

無線機の ur に設定する文字列

**レピーターに接続する場合**

接続先のレピーターをエリア CQ の書式で設定して PTT を押します

- ・ 接続可能なレピーターのリストに該当するレピーターがない場合

RX:xxxxxx x/WRNG

MSG: WRONG CALL xxxxxx x

- ・ 接続用のコールサインが管理サーバーに登録されていないか一度も RF 経由で使用されたことがない場合

RX:xxxxxx x/NORG

MSG:NOT REGIST xxxxxx x

- ・ レピーターに接続できた場合

RX:xxxxxx x/LINK

MSG:LINK TO xxxxxx x

- ・ レピーターに接続できなかった場合

RX:xxxxxx x/NOLK

MSG:NOT LINKED xxxxxx x

**レピーターを切断する場合**

ur に DISCON のもしくは UNLINK を設定して PTT を押します

- ・ 無線機が dmonitor に接続されている場合

RX:xxxxxx x/UNLK

MSG:UNLINK FROM xxxxxx x

- ・無線機が rpt\_conn に接続されている場合

RX:xxxxxxx x/RPTC

MSG:NOT UNLINK RUN RPTC

注意 この場合は、rpt\_conn を切断せず、そのまま無線機との接続を継続します。

### **dmonitor** もしくは **rpt\_conn** の現在の状態を知る

ur に STATUS を設定して PTT を押します

dmonitor でなく rpt\_conn に無線機が接続されている場合

RX:xxxxxxx a/RPTC

MSG:RPT CONN RUNNING

- ・無線機が dmonitor に接続されている場合

RX:xxxxxxx x/DMON

MSG:LINKED TO xxxxxx x

### スキャンを実行する場合

ur に SCAN を設定し PTT を押します

rpt\_conn に無線機が接続されている場合のみ、機能します。

- ・無線機が rpt\_conn に接続されている場合  
何も表示せず、レピータのスキャンを実行します。
- ・無線機が dmonitor に接続されている場合

RX:xxxxxxx x/DMON

MSG:NOT SUPPORT SCAN

中断する場合は、ur に再度 SCAN を設定して PT を押します

### ラズベリーパイを再起動する場合

ur に REBOOT を設定して PTT を押します

### **rpt\_conn** の起動方法

- ・web を使用しないで、使用する場合

```
sudo killall -s 2 dmonitor
```

```
sudo systemctl stop auto_repmon
```

```
sudo sysemctl restart auto_repmon_light
```

```
sudo systemctl restart rpt_conn
```

を実行して下さい。なお、使用無線機の設定、DVAP の設定、接続コールサインの設定は、`/var/www/` のディレクトリにある、`dmonitor.conf` のファイルに設定値が書き込まれています。このファイルを編集することで、設定を変更できます。

```
1 行目  使用リグ          ICOM,DVAP,DVMEGA,NODE
2 行目  LCD のタイプ      NONE,G20x4,G16x2
3 行目  接続コールサイン  XX0XX
```

・ `web` を使用した状態で、使用する場合は通常はこのままで使用できますが動作がおかしい場合は

```
sudo killall -2 dmonitor
```

```
sudo sysemctl restart auto_repmon
```

```
sudo systemctl restart rpt_conn
```

を実行してください。

### STATUS、UNLINK 等を無線機に設定する方法

無線機から `rpt_conn` や `dmonitor` を操作する場合、`ur` に接続時は、エリア `CQ` の指定、レピータの切断は、`UNLINK` もしくは `DISCON` を指定、`dmonitor` と `rpt_conn` の状態を知るには `STATUS` を指定する必要があります。この中でエリア `CQ` は、無線機のエリア `CQ` の設定がそのまま使用できます。(ただし一部のレピータでは、`multi_forward` との接続の問題で、接続できません。) また、`UNLINK` と `STATUS` を、その都度 `ur` に設定するのは不便ですので、下記手順で「個人局」に登録することができます。

下記 URL に初期値 (ICOM ARC、ならやま自動応答、エコーサーバが設定されています。) に、`STATUS`、`UNLINK`、`SCAN` そして `REBOOT` を追加した設定ファイルを置いておきました。

[http://app.d-star.info/misc/Your20200927\\_01.csv](http://app.d-star.info/misc/Your20200927_01.csv)

このファイルを PC の適当な場所にダウンロードしてください。(「個人局」に独自の局を追加されている場合は、上記ファイルを参考の上、`STATUS` と `UNLINK` を追加してください。)

下記に ID-31Plus の場合の手順を示しておきます。他の無線機の場合は、適時読み替えて

ください。

無線機の SD カードを外し PC にセットします。

ID-31->Csv->YourMemory の下に上記ファイルを書き込みます。

その後、この SD カードを無線機に戻し、

MENU -> SD カード -> インポート/エクスポート -> インポート

-> 相手局コールサイン -> Your20200927\_01.csv -> はい

を実行後、再起動が要求されましたら、一度電源を切り、再度電源を入れて下さい。これで、ur の設定画面の個人局から STATUS、UNLINK、SCAN、REBOOT の設定ができます。